



平成 29 年 4 月 28 日

各 位

会社名 富士紡ホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 中野 光雄
(コード番号：3104 東証第一部)
問合せ先 取締役 大久保 制宇
(Tel : 03-3665-7612)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、企業価値を向上させることを目的として、取締役会の実効性に関する分析・評価を行いましたので、その結果の概要を公表いたします。

1. 評価の方法

取締役 7 名（内、社外取締役 2 名）・監査役 4 名（内、社外監査役 3 名）に対して評価の趣旨等を説明のうえ質問票を配布し、全員からの回答により得られた意見等に基づき、分析・評価を実施いたしました。

【質問内容】：平成 28 年度における当社取締役会の実効性について（35 項目）

「取締役会の構成」「取締役会の運営」「取締役会の議題」「取締役会を支える体制」「株主との対話」

【回答方法】：3 段階評価および自由回答、無記名方式

2. 平成 28 年度の分析・評価結果の概要

当社取締役会は、次のような観点から、実効性が概ね確保できていると分析・評価しました。

- ・当社の取締役会の構成は、当社の事業内容・規模からみて、十分な体制となっているものの、社外取締役の更なる充実が望まれるという意見もあった。
- ・当社の取締役会の運営は、開催頻度、資料の内容等の観点から適切に運営されている。
- ・当社の取締役会の審議は、電子機器活用による議案の事前提供、審議時間の確保、社外役員が自由闊達に意見を述べられる場の醸成等が図られ、充実した審議が行われている。但し、案件によっては他の会議体への権限委譲が望まれるという意見があった。
- ・当社の取締役会を支える体制については、社外役員を含む取締役会への必要な情報の的確な提供や、トップとの情報交換あるいは社外取締役と監査役会の意見交換の機会等、取締役会の機能向上が図られている。

3. 今後の対応

当社取締役会は、上記の分析・評価結果を踏まえて今後も議論を重ね、社外取締役の充実や取締役会付議案件についての見直しなど、取締役会の更なる実効性向上を図り、当社グループの持続的成長の実現と中長期的な企業価値の向上をめざしてまいります。

以 上